

岩滑小学校区 ふくし井戸端会議 ダイジェスト

発行元：半田市 令和3年3月発行

ふくし井戸端会議とは、地域の困りごとや活動内容を地域のみなさんで共有する場です。今回のふくし井戸端会議では、コロナ禍でのサロン運営や地域の現状などについて話し合いました。



日にち：① 令和2年11月17日（火）
② 令和2年12月9日（水）
③④令和2年12月19日（土）

場所：①山ノ神社（ふれあい山ノ神）
②岩滑小学校区の様々なところ
③修農公民館（楽園サロン）
④りんりん（やなべ小町）

参加人数：①18名 ②7名 ③40名 ④13名

内容：①③コロナ禍のサロン運営についてなど
②防災や地域の現状について
④裁縫を通じた地域貢献について



主な意見など

- ① ふれあい山ノ神（月1回、近隣住民の憩いの場）
 - ・岩滑地区にごん吉くんバスができたので、近所の人たちを誘って利用してみた。
 - ・サロンを運営委員主体ではなく、参加者主体型（抹茶立て）で開催してみよう！
- ② 岩滑小学校区の防災・地域の現状
 - ・救急車や消防車が入れないような細い道があり、災害時に救助等が難しい場合がある。
 - ・「ごんの灯」により地域で見守り活動をしている。いざという時のため、日頃の関係が大切！
- ③ 楽園サロン（月1回、修農公民館で開かれるサロン）
 - ・昨年立ち上がったサロンだが、最近になって来なくなった人が心配…。
 - ・サロンの運営方法など、より良い形を目指して話し合いを続けていこう！
- ④ やなべ小町（NPO法人りんりん内でお裁縫！）
 - ・小学校入学と同時に必要な給食袋や上履き袋など、保護者の作成の手助けをしていこう！



日頃からできることや地域貢献について考えました。サロン運営においても、新型コロナウイルス感染対策についてだけでなく、地域住民のための取り組みにまで考えを広げられました！

<お問い合わせ先>

半田市地域福祉課 ☎ 0569-84-0641 / 半田市社会福祉協議会 ☎ 0569-23-7361